

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
2 6 — 5 3	中 学 校	国 語 科	国 語	第 2 学 年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教 科 書 名		
2 東 書	国 語 8 2 7	新 編 新 し い 国 語 2		

1. 編修の趣旨及び留意点

一生ものの「言葉の力」を育てたい。思考を巡らし、想像を広げ、他者とコミュニケーションをとりながら、日々をいきいきと暮らし、主体的に社会に参加していくための言葉の力。

心に響く「珠玉の日本語」をだいじにしたい。古代より現代に至るまで、豊かな言語文化の伝統の中で磨かれながら、人々の知恵と思いを伝える役目を果たしてきた珠玉の日本語。

言葉の力を育み、珠玉の日本語を受け継いでゆく。そんな願いを込めて、私たちはこの教科書を編みました。

2. 編修の基本方針

1. 「言葉の力」を、しっかり鍛える。

——どんな力を、どうやって身につけるのか。その問いに答える教科書です。

この作品を読むことで、この文章を書くことで、このスピーチをすることで、どんな力を養っていくのか。それぞれの学びのポイントを、「言葉の力」という囲みで明示しています。

力がつくのは、実践と基礎トレーニングの繰り返しから。小説を読んだり、意見文をまとめたりすることが実践なら、国語科の基礎トレーニングとは？ その問いに、「学びを支える言葉の力」が答えます。

2. 知性と感性を、もっと豊かに。

——日本の言語文化を受け継ぎ、未来を切りひらいてゆく言葉の担い手を育てます。

よりすぐりの古典作品に加えて、鑑賞・紹介の文章や美しい写真資料を豊富に盛り込み、古典の世界へいざないます。格調高く手応えのある近代文学、親しみやすくて心に残る現代文学も、手厚く取り上げました。

また、中学生の発達段階と知的好奇心に応じて、現代の科学の成果や社会・人間の抱える問題についてやさしく説いた文章を掲載しています。構成の明快な文章を通して、論理的な思考の筋道を学べます。

3. 学ぶ心に、火をつける。

——生徒を主体的な学びへといざなう仕掛けを随所にちりばめました。

ばらばらと教科書をめくり、たまたま開いたページをつい、読みふけてしまう。いつのまにか学びが始まっていて、本を閉じたときには、生徒の言葉の世界が少し豊かになっている。そんな教科書になるよう、学ぶ意欲を引き出す紙面を追求しました。

個性ある6人の生徒たちと案内役のキャラクターとともに、豊かな言葉の学びへの扉を開きます。



1. 「言葉の力」を、しっかり鍛える。

——どんな力を、どうやって身につけるのか。その問いに答える教科書です。

① 「話す・聞く」「書く」「読む」それぞれの学習材で身につけたい知識・技能のポイントが、「言葉の力」として明確に示されています。

- 「言葉の力」は、習得と活用を繰り返しながら3年間で系統的に積み上がるように配置されています。
- 習得した知識・技能を後の学習で活用することによって、思考力・判断力・表現力を高めることができます。

② 「話す・聞く」「書く」「読む」の「言葉の力」を支える学習材「学びを支える言葉の力」(基礎編)が用意されています。3領域に共通して必要となる基礎的な知識・技能を、取り立てて鍛えることができます。

- 「学びを支える言葉の力」への導入として、本編に「学びの扉」が設けられています。
- 「学びを支える言葉の力」で学んだことは、国語科だけでなく、他教科の学習や実生活にも生きてきます。

読むこと				書くこと				話すこと・聞くこと			
言葉とメディア	文学二	文学一	言語感覚	感性・創造	情報発信	通信・手紙	論証・説得	伝達	詩歌創作	話し合う	聞く
●言葉の活用を促す ●ニュアンスの見方を考えよう	少年の日の思い出 ●伏線に注目する	飛べ かもめ さんちさ ●表現を手がかりにして考える	詩の心——発見の喜び ●詩を鑑賞する	作品のよさを表現しよう ●歌の鑑賞 ●作品を鑑賞し、考えをまとめる ●感じたことや考えたことを表現する	学校新聞の記事を書く ●図表を用いて情報を伝える	案内・報告の文章を書く ●想定の準備を選択する	根拠を明確にして書く ●意見文 ●根拠を示す ●読者の立場を考慮する	構成を考えた書く ●「秘」の読み文 ●材料を集める ●材料を整理し、文章を構成する	小さな発見を詩にしよう ●表現を工夫する	話し合いて理解を深めよう グループディスカッション ●体験や考えを出し合う ●相手の考えを受けて話す	会話の場面や質問をしよう ●メモを取り、質問する ●具体例を挙げて伝えよう 「ことわざ」スピーチ ●順序立てて話を組み立てる ●聞き取りやすき効果的な話し方を考える
●事実と虚構の関係を意識する [192]	走れメロス ●人物像に着目する [169]	字のない葉書 ●登場人物の言葉や行動の意味に注意する [167]	短歌を楽しむ ●短歌を鑑賞する [25]	短歌から始まる物語 ●豊かな想像力 [207]	タウン誌の記事を推敲しよう ●より効果的に伝えるように推敲する [194]	依頼状やお礼状を書く ●手紙を推敲する [146]	反論を考える [102] ●分かりやすい構成で意見文をまとめる [103]	調べたことを伝えよう 「食文化」のレポート ●テーマを設定する [72] ●レポートの構成を工夫する [74]	短歌のリズムで表現しよう ●描き方を工夫する [22] 調べて考えたことを伝えよう 「食文化」のレポート ●テーマを決め、メリットとデメリットを出し合う [98]	話し合いて問題を検討しよう リンクマップによる話し合い ●テーマを決め、メリットとデメリットを出し合う [98]	問題意識を持って聞こう ●聞き取ったことを吟味する [62]
●情報をより深く捉える	故郷 ●人間関係の変化に着目する	形 ●作品を批評する	俳句の読み方、味わい方 ●俳句を鑑賞する	今の思いをまとめよう ●書きたい内容を考える ●手紙の書きだしと結びを整える	依拠する [146]	複数の対象を比較する ●説得力のある批評文を書く ●批評文を評価する	観察・分析して論じよう ●複数の対象を比較する ●説得力のある批評文を書く ●批評文を評価する	編集して伝えよう 「環境」のミニ雑誌 ●内容を膨らませて書く ●推敲して読みやすい文章に仕上げよう	俳句を作って句会を開こう ●読み合って評価する 編集して伝えよう 「環境」のミニ雑誌 ●内容を膨らませて書く ●推敲して読みやすい文章に仕上げよう	話し合いて問題を解決しよう チャート式討論 ●論点を整理する ●お互いの考えを生かす	評価しながら聞こう ●話をさまざまな観点から評価する 場面に応じて話そう 条件スピーチ ●目的や相手、時間を意識する ●場の状況や相手の様子に応じて話す

言葉の力 一覧 (「」は載っているページ)

◆各領域の言葉の力

創造的な言葉の力		論理的な言葉の力		実用的な言葉の力	
表現する力	解釈する力	議論する力	分析する力	説明する力	整理する力
鮮やかに表現する	文脈を捉え、伏線に気づく	質問する	事実と考えを区別する	順序立てて説明する	分類する
想像を誘うように表現する [251]	人物像を捉える [248]	反論する [245]	論証の組み立てを捉える [242]	テーマを立てて説明する [239]	要約する [234]
素材を生かして表現する	人物どうしの関係に着目する	合意を形成する	論理的に読む	目的や相手に応じて説明する	比較する

◆学びを支える言葉の力

巻末「言葉の力 一覧」

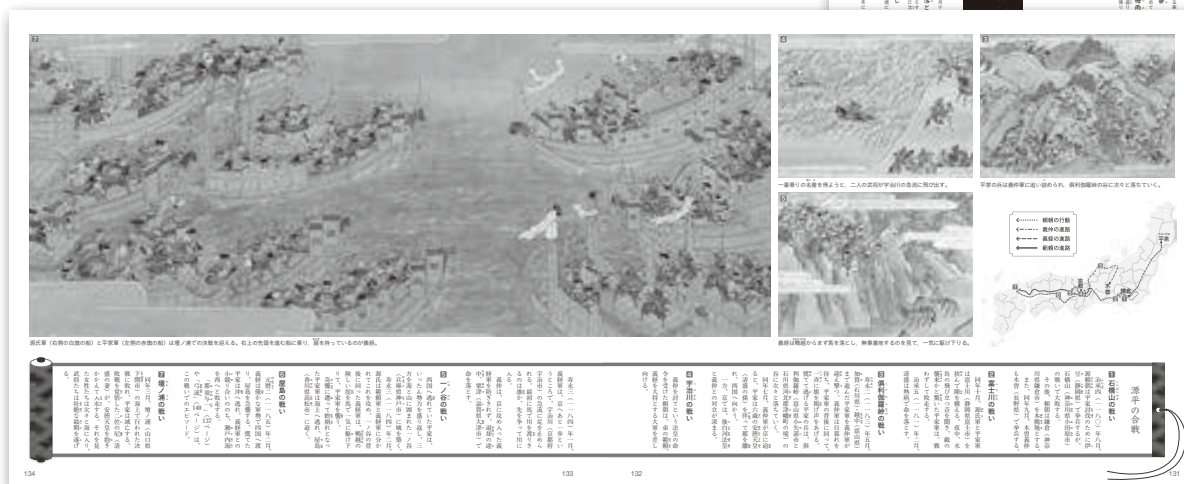
2. 知性と感性を、もっと豊かに。

——日本の言語文化を受け継ぎ、未来を切りひらいてゆく言葉の担い手を育てます。

教育基本法 第1章 第2条に掲げられた目標を達成するために、以下の観点で題材を選定・作成しました。

- ① 日本の伝統・文化への理解を深め、親愛の情を持てる題材
- ② 情報化・国際化の進む現代社会を担っていく素養を育む題材
- ③ 論理的・批判的に考え、説得力をもって伝える力を磨く題材
- ④ 豊かな想像力と、共感する心、他者と協働する精神を養う題材

① 日本の伝統・文化への理解を深め、親愛の情を持てる題材 古人の思い、古人の感性に心が動く。



上：巻頭口絵
「四季を彩る言葉」
左：p.128~
「平家物語」

- 美しく豊かな日本語に触れる機会が多く設けられています。
- 古典は、写真資料が豊富に掲載されるなど、丁寧に扱われています。また、近代文学や近代詩の名作も、全学年に掲載されています。



② 情報化・国際化の進む現代社会を担っていく素養を育む題材

日本の知恵と技、世界へ。

- 文化論や科学論が取り上げられていて、物事を深く知ることのおもしろさや大切さを学ぶことができます。
- メディアリテラシーは全学年で扱われています。情報の受信者・発信者の、双方の姿勢が学べるように工夫されています。

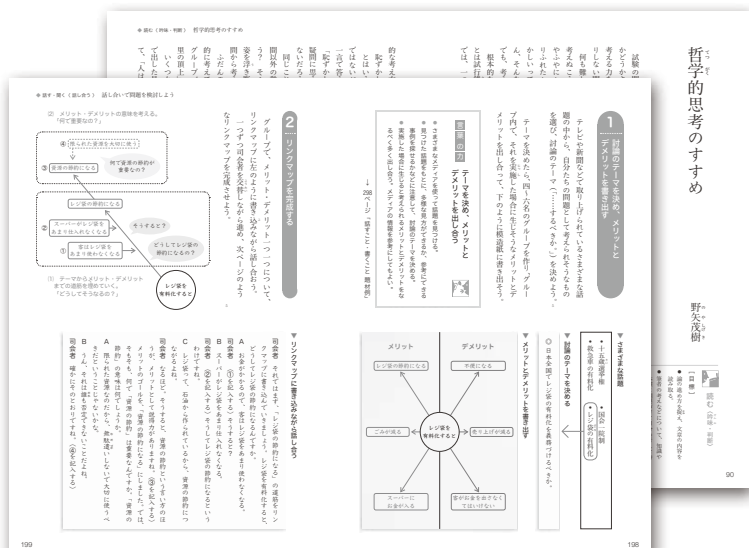
左下：p.174~「歴史の物差し——水月湖の年縞」
右上：p.60~「郷節——世界に誇る伝統食」

③ 論理的・批判的に考え、説得力をもって伝える力を磨く題材

考える技術を手に入れる。

- 知的好奇心に訴える題材で、明快な構成の説明文がそろっていて、論理的な考え方や書き方を学べます。
- 「話す・聞く」では、提案の仕方や問題を検討するための話し合いの方法を学びます。

左下：p.197~「話し合いで問題を検討しよう」
右上：p.90~「哲学的思考のすすめ」



④ 豊かな想像力と、共感する心、他者と協働する精神を養う題材

家族、友。人との関わりの中で。

左：p.37-「卒業ホームラン」

右：p.203-「いきいきと描き出そう」



- 文学では、登場人物の思いや意志に触れながら、想像力や共感する心を育てていくことができます。
- 平和への思いを受け継ぐ作品が各学年に掲載されています。
- 「書く」では、想像を広げて創作したり、書いた作品を読み合ったりして、表現力を磨いていきます。

3. 学ぶ心に、火をつける。

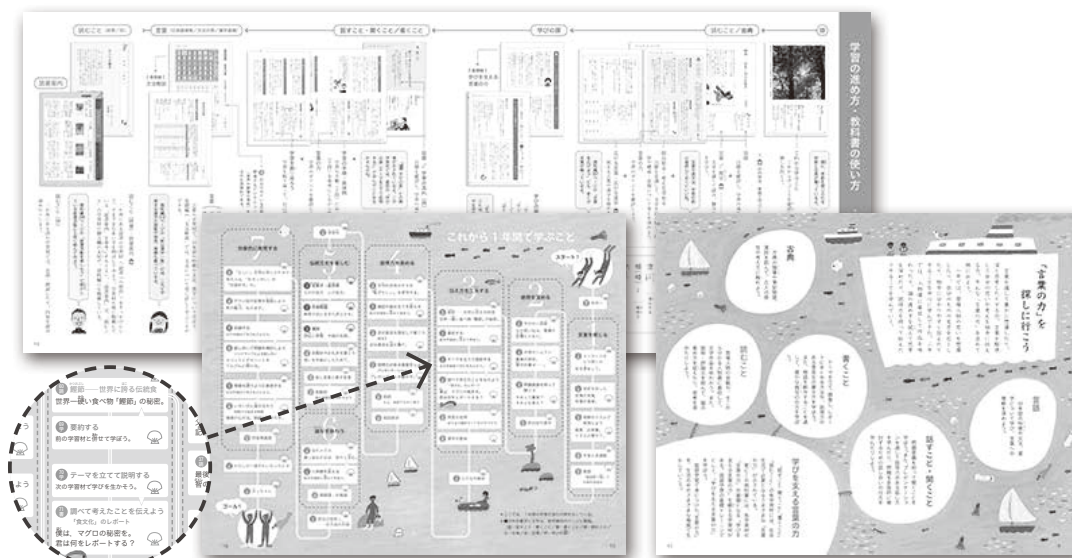
——生徒を主体的な学びへとつなぐ仕掛けを随所にちりばめました。

① 国語の学びへの関心を高め、進んで学習に入っていけるような紙面になっています。

- 個性ある6人の生徒たちと案内役のキャラクターが登場し、彼らとともに学んでいくスタイルになっています。
- ゲーム感覚で学べる「文法の窓」、豊富な語彙が用例とともに示されている「言葉を広げよう」、さまざまな図書が紹介文と写真入りで取り上げられている「読書案内」など、学ぶ意欲を引き出すページが随所に設けられています。
- 基礎編・資料編を中心に、家庭学習に使える学習材が多く用意されています。

② 生徒自身が学びの見通しを持ったり、これまで学んだことを振り返ったりすることができます。

- 巻頭の折り込みで、国語科のねらいや学習の進め方を、生徒自身が確かめることができます。
- 巻末の「言葉の力 一覧」で3学年の学習のつながりをつかむことができます。また、「学びを支える言葉の力」では、学んだことが国語や他教科の学習、実生活にどう生きていくのかを、「つながる・広がる」の欄で知ることができます。



p.9-「言葉の力」を探しに行こう、p.11-「学習の進め方・教科書の使い方」、p.15-「これから1年間で学ぶこと」

p.234-「要約する」より

3. 対照表

教育基本法に定められた教育の根本精神に基づき、幅広い知識・教養と思考力、豊かな人間性、伝統文化を受け継ぐ心、未来を切りひらく創造性と公共の精神を育む、多彩な学習材や学習活動が調えられています。

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色（ ）内は、教育基本法 第1章 第2条のうち、特に関連の深いものを示す。	該当箇所
四季を彩る言葉	・季節ごとの気候や空模様を表す言葉に触れて、我が国の風土や言語文化に親しみを持つことができます。(第5号)	➡ 巻頭口絵
1 言葉を感じる	・「メッセージをどう聞か」では、受け継がれてきた物事を見つめ直します。(第5号) ・短歌の鑑賞と創作を通して、豊かな情操を育みます。(第1・5号) ・2・3年を通して、敬語をしっかりと学びます。(第1・3号)	➡ 18～20ページ ➡ 21～27ページ ➡ 30ページ
2 感想を深める	・家族の姿を描いた「字のない葉書」「卒業ホームラン」で、心情を読み取り感想を深めることを通して、人と人とのつながりを見つめ直します。(第1号) ・「問題意識を持って聞こう」では、話を吟味しながら聞くことを学びます。(第3号)	➡ 32～36, 37～52ページ ➡ 54～56ページ
3 伝え方を工夫する	・鯉節のすばらしさを説いた「鯉節——世界に誇る伝統食」を通して、伝統・文化への認識を深めるとともに、受け継いでいく意義についても考えます。(第5号) ・全教科の学習や社会生活に必要な、レポートの書き方を学びます。(第1・3号)	➡ 60～67ページ ➡ 71～76ページ
4 説得力を高める	・「哲学的思考のすすめ」を読んで、考えるための技術を学んだり、反対意見を想定した意見文の書き方を学んだりして、論理的思考力を磨きます。(第1号) ・地域の農業を支えることを訴えるプレゼンテーションに触れ、自然を守る意識を高めるとともに、提案する力を養います。(第3・4号)	➡ 90～96, 99～104ページ ➡ 105～110ページ
5 伝統文化を楽しむ	・豊富な写真資料と併せて古典を学び、伝統文化に親しみます。(第5号) ・依頼状やお礼状の書き方を学び、職業への意識・社会性を養います。(第2・3号)	➡ 118～145ページ ➡ 146～147ページ
6 描写を味わう	・信頼と葛藤を描いた「走れメロス」を通して、豊かな情操や誠実な心、自律の精神を育みます。(第1・2号)	➡ 152～169ページ
7 効果的に表現する	・言葉の特性を論じた「『正しい』言葉は信じられるか」を読んだり、新聞記事を読み比べたり、タウン誌の記事を推敲したりして、言葉への認識を深めます。(第1・3号) ・環境問題などを題材として話し合う活動を通して、公共的・社会的な問題について検討したり意思決定をしたりするための方法を学びます。(第3・4号) ・短歌から想像を広げて物語を書くことで、個性を磨き、創造性を養います。(第2号)	➡ 186～192, 193～195ページ ➡ 197～201ページ ➡ 203～209ページ
読書への招待／ 読書案内	・「小さな労働者」を読み、子供の人権について考えます。(第3号) ・「歴史の物差し——水月湖の年稿」を読み、最新の科学の成果を知るとともに、研究者の探究する姿勢を学びます。(第1号) ・夏目漱石の「坊っちゃん」を読み、近代文学に親しみます。(第1・5号) ・一年間を通して多種多様な読書案内が配置され、3学年で305冊ものさまざまなジャンル・テーマの本が紹介されています。(第1～5号)	➡ 80～85ページ ➡ 174～181ページ ➡ 214～226ページ ➡ 86～88, 227～229ページ ほか
詩	・悠久の時の中で未来を主体的に切りひらくことをうたう「未来へ」、戦争を乗り越えて生きる決意をうたう「わたしが一番きれいだったとき」を学びます。(第2・5号) ・「日本語のしらべ」として、北原白秋の「落葉松」を学びます。(第5号)	➡ 巻頭見返し、212～213ページ ➡ 114～116ページ
広がる言葉	・学年に4か所ある「広がる言葉」で語彙を広げることができます。(第1号)	➡ 53ページ ほか
【基礎編】	・国語科だけでなく、全教科および実生活にも生きる、基礎的な知識・技能（「学びを支える言葉の力」）を取り立てて学び、鍛えていきます。(第1号)	➡ 234～253ページ
【資料編】	・本編の作品と読み比べられる小説・説明文や古典作品の解説、語彙・漢字資料など、多くの資料が掲載され、自主的な学習に役立てることができます。(第1～5号)	➡ 272～336ページ

4. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

全ての生徒の学びが確かなものとなるように、カラーバリアフリーを含めたユニバーサルデザインや、特別支援教育等の観点から、次のような配慮がなされています。

- 全ての生徒にとって、紙面上の各部分の区分けや働きが分かりやすく、重要な部分が判別しやすいように、文字の大きさと書体、罫線や囲みの使い方、色遣いなど、デザイン・レイアウトの工夫がなされています。
- 小学校で学習していない漢字には、学習材ごとの初出箇所に振り仮名が付けられていて、生徒の抵抗感を和らげています。

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

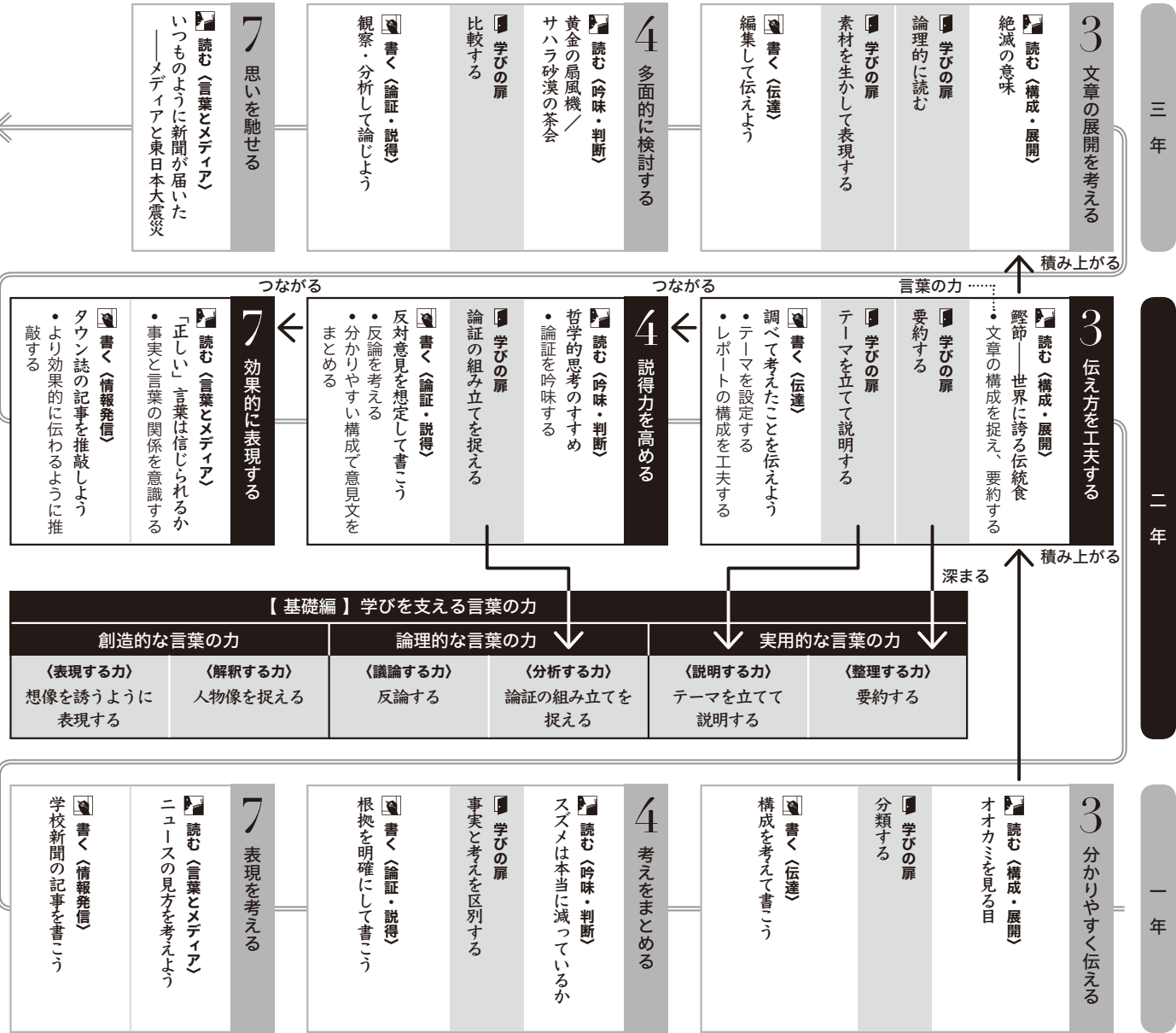
受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
2 6 - 5 3	中 学 校	国 語 科	国 語	第 2 学 年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教 科 書 名		
2 東 書	国 語 8 2 7	新 編 新 し い 国 語 2		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

1. 「言葉の力」を、しっかり鍛える。

——どんな力を、どうやって身につけるのか。その問いに答える教科書です。

- 国語学習で身につけたい知識・技能のポイントが、「言葉の力」として、各学習材に明確に示されています。
- それぞれの「言葉の力」は、各学習材間でつながりを持ちながら、中学校3年間で系統的に積み上がるように配置されています。習得した知識・技能を後の学習で活用することによって、思考力・判断力・表現力を高めることができます。
- 基礎編「学びを支える言葉の力」では、「話す・聞く」「書く」「読む」に共通して必要となる基礎的な「言葉の力」(知識・技能)を、取り立てて鍛えることができます。本編の「学びの扉」が、「学びを支える言葉の力」への入り口となっています。



- ◎各学習材には、学習のねらいや進め方が分かりやすく示され、生徒が主体的に学習に取り組めるように工夫されています。
- ◎「話す・聞く」「書く」の学習材では、生徒の活動の助けとなるよう、具体例が豊富に盛り込まれています。また複数の完成作品例が示されるなど、生徒の多様な思考・表現を支援する配慮がなされています。

話すこと・聞くこと／書くこと

目標／学習の流れ（例）

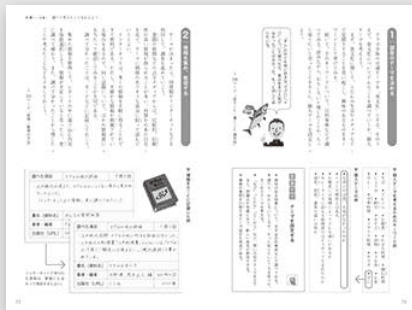
- ・学習材冒頭に示されている目標と、「学習の流れ（例）」を確認し、学習の見通しを持つ。

学習の手順・具体例／言葉の力

- ・初めに、必要に応じて、基本的な技能の練習をする。
- ・学習材の上段で、言語活動の手順を学ぶ。適宜、学習のポイントである「言葉の力」を確認する。
- ・活動の過程では、学習材の下段の具体例を参考にする。学習材末尾の完成作品例（適宜複数示されている）も参考にする。

学習を振り返ろう

- ・最後に学習を振り返り、目標に照らして自己評価を行う。



p.71～「調べて考えたことを伝えよう」

読むこと

目標

- ・学習材冒頭および「てびき」に示されている目標と、「てびき」に示されている言語活動を確認し、学習の見通しを持つ。

文章／脚注／読み取る・考えを深める／言葉の力

- ・文章を通して読み、脚注の言葉や漢字を確かめる。
- ・「てびき」の「読み取る」設問に沿って、内容を読み取る。
- ・「てびき」の「考えを深める」設問に沿って、内容や構成・表現について考えを深める。
- ・「言葉の力」で学習のポイントを確認する。

広がる言葉・広がる漢字

- ・文章と関連して、使える言葉や漢字を増やす。



p.90～「哲学的思考のすすめ」

2. 知性と感性を、もっと豊かに。

——日本の言語文化を受け継ぎ、未来を切りひらいてゆく言葉の担い手を育てます。

新…「読むこと」「古典」の新学習材、書…教科書のために書き下ろした作品

読むこと ● 文学

未来へ 谷川俊太郎 [詩] **新**
 扉の短歌七首 [短歌] 口絵 扉 うち四首 **新**
 メッセージをどう聞くか 加賀美幸子 [随筆] **新**
 短歌を楽しむ 道浦母都子 [短歌の鑑賞文] **書**
 字のない葉書 向田邦子 [随筆]
 卒業ホームラン 重松 清 [小説]
 落葉松 北原白秋 [詩]
 走れメロス 太宰 治 [小説]
 わたしが一番きれいだったとき 茨木のり子 [詩]
 坊っちゃん 夏目漱石 [小説] **読書**
 【資料編】カメレオン アントン・チェーホフ [小説]

- ◎現代の作家の新鮮な作品から定評のある作品、近代文学の名作まで、幅広い作品が掲載されています。
- ◎登場人物の思いや意志に触れながら、想像力や共感する心を育てていくことができます。
- ◎各扉に詩歌が配置され、美しい日本語に触れることができます。



「坊っちゃん」より

読むこと ● 説明文

鯉節——世界に誇る伝統食 小泉武夫 [説明文] **書**
 小さな労働者 ラッセル・フリードマン
 [ドキュメンタリー] **読書**
 哲学的思考のすすめ 野矢茂樹 [評論文] **新 書**
 歴史の物差し——水月湖の年縞 山根一眞
 [説明文] **読書 新 書**
 「正しい」言葉は信じられるか 香西秀信 [説明文] **書**
 【資料編】白川郷——受け継がれる合掌造り
 NHK「世界遺産」プロジェクト [ドキュメンタリー]

- ◎学習目標に則した書き下ろしの文章が数多くあります。
- ◎構成の明快な文章を通して、論理的・批判的に考える力を磨くことができます。読み比べや図表の読み取りも扱われています。
- ◎文化論、科学論、メディアリテラシー等の、知的好奇心に訴える文章から、多様な考え方を学ぶことができます。



「鯉節——世界に誇る伝統食」より

四季を彩る言葉 口絵 新

枕草子・徒然草

枕草子…春はあけぼの／

九月ばかり、夜一夜降り明かしつる雨の 新

徒然草…つれづれなるままに／仁和寺にある法師

平家物語 祇園精舎／那須与一／弓流

漢詩 黄鶴楼にて孟浩然の広陵に之くを送る／春望

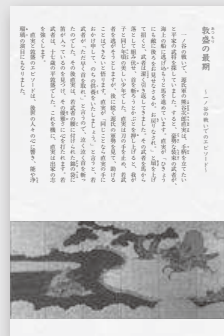
【資料編】清少納言と紫式部 三角洋一 書

漢詩の世界 日原 傳 書

古典芸能に親しもう

●「四季を彩る言葉」では、暮らしの中で受け継がれてきた季節感豊かな言葉に触れることができます。

●古典の学習材では、鑑賞・紹介の文章や美しい写真資料が豊富に掲載されていて、伝統的な言語文化の豊かさを知り、古典作品に親しめるように、工夫されています。



「平家物語」より

問題意識を持って聞こう

説得力のある提案をしよう プレゼンテーション

話し合いて問題を検討しよう リンクマップによる話し合い

【資料編】取材の仕方（インタビュー・アンケート）

●友達と言葉を交わして、よりよく理解し合いながら学びを深める活動が取り上げられています。

●互いに認め合い、高め合い、協力し合う心性を育むことができます。



「話し合いて問題を検討しよう」より

短歌のリズムで表現しよう

調べて考えたことを伝えよう 「食文化」のレポート

反対意見を想定して書こう 意見文

依頼状やお礼状を書こう

タウン誌の記事を推敲しよう

いきいきと描き出そう 短歌から始まる物語

【資料編】手紙の書き方／原稿用紙の使い方・推敲の観点（条件作文）

●実用的な文章、論理的な文章、創造的な文章と、多様な文種を書く活動がそろっています。

●分かりやすく説得力をもって書くことを通して論理的思考力を、発想豊かに書くことを通して想像力を養っていくことができます。



「いきいきと描き出そう」より

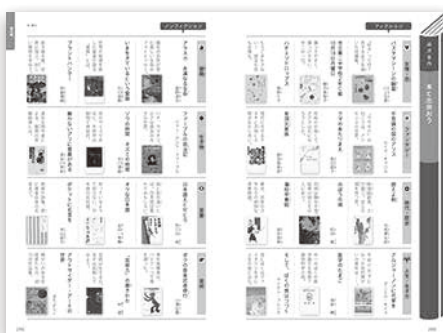
3. 学ぶ心に、火をつける。

——生徒を主体的な学びへといざなう仕掛けを随所にちりばめました。

- 楽しく学ぶ** 個性あるキャラクターが登場し、生徒にさまざまな気づきを促してくれます。また、苦手意識を持たれがちな文法をゲーム感覚で楽しく学べる「文法の窓」が設けられているなど、学ぶ意欲を高める数々の工夫がなされています。
- 学び方を知る** 巻頭折り込みには、国語で何を学ぶのかということや学習の進め方が、生徒にも分かるように示されています。また、中学1年の最初に確認しておきたい小学校の既習事項が、「学習を始める前に」として資料編に掲載されています。
- つながる・広がる** 巻末には3学年の「言葉の力 一覧」が掲載されていて、3年間の学習の流れを見通すことができます。また、「学びを支える言葉の力」には、学んだことが国語や他教科の学習、実生活にどう生きていくのかが示されています。
- 語彙を豊かにする** 「読む」学習材末に「広がる言葉」、資料編に「言葉を広げよう」が設けられていて、生徒の語彙を豊かにする手立てが工夫されています。「広がる言葉」「言葉を広げよう」には、3学年で1570の言葉が掲載されています。
- 読書が進む** 教科書で読んだ作品をきっかけに、さまざまな本に手を伸ばすことができるように、「読書案内」が工夫されています。多種多様なテーマの本、古典、翻訳書、話題の作品から名作まで、3学年で305冊の本が紹介されています。
- 家庭で学ぶ** 資料編には、本編の作品と関連させて読むことのできる文学・説明文・古典の作品や、「話す・聞く」「書く」の学習に役立つさまざまな資料が掲載されています。資料編の学習材は家庭学習で活用することもできます。



p.30 「敬語」



p.288-「本と出会う」



p.296-「古典芸能に親しもう」



p.307-「言葉を広げよう」

教科書の特徴	
教育基本法の遵守	- 教育基本法の目的と理念を実現するため、特に次の4点を育むことを重視して編集されています。 ① 幅広い知識・教養と思考力 ② 豊かな人間性 ③ 伝統文化を受け継ぐ心 ④ 未来を切りひらく創造性と公共の精神
学習指導要領の遵守	- 中学校学習指導要領（国語）に示された教科の目標に則り、指導事項と言語活動例はもれなく扱われています。 - 各指導事項を多彩な言語活動を通して習得・活用することができ、知識・技能と思考力・判断力・表現力を養えます。 「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」が重視されていて、伝統文化や言語について深く学ぶことができます。
内容・系統	「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の学習が、相互に関連しながら、3年間で系統的に積み上がるように構成されています。また、各領域を支える基礎的な力を鍛える「学びを支える言葉の力」が設けられています。 「伝統的な言語文化」「国語の特質」の学習は、生徒が意欲的に取り組み、確かな力をつけられるように工夫されています。 - 生徒の知的好奇心に訴え、知性と感性を育む、多彩な題材が用意されています。
配列・分量	- 本編・基礎編・資料編の3部から成っています。学習指導要領の内容は本編で網羅されており、基礎編・資料編を用いて、適宜学習の深化や拡充が図れます。 3学期制でも2学期制でも各領域等の指導がバランスよくなされるように、学習材の配列が考えられています。
学力の育成	- 各領域の各学習材に、身につけたい知識・技能が「言葉の力」として明示されていて、その着実な習得が図られています。 - 習得した「言葉の力」を後の学習で活用することによって、思考力・判断力・表現力を高められるようになっています。 - 各領域の「言葉の力」を支える基礎的な力を、「学びの扉」と、それにつながる基礎編「学びを支える言葉の力」において、しっかり鍛えることができます。 - 複数の文章を読み比べる活動や、図表を読み取ったり作成したりする活動が、全学年に用意されています。 - 語彙・文法・漢字を確実に習得するための学習材が設けられ、また、生徒の語彙を豊かにする工夫がなされています。
学習意欲・主体的な学習態度の育成	- 巻頭折り込みに、国語学習の意義と進め方、1年間の見通しが、生徒にも分かりやすく示されています。 - 巻末の「言葉の力 一覧」を用いて、3年間の学習を見通したり振り返ったりすることができます。また、資料編の「学習用語一覧」を用いて、具体的に学習内容を確認めたり振り返ったりすることができます。 「学びを支える言葉の力」では、学んだことが国語や他教科の学習、実生活にどう生きていくのかを確かめられます。 - 多種多様な「読書案内」や「言葉を広げよう」などで、主体的に読書をしたり語彙を豊かにしたりする態度を養えます。 - キャラクターの使用、ゲーム仕立ての学習材、折り込みの効果的な使用など、生徒の学習意欲を高める工夫が豊富です。
伝統・文化の取り上げ方	- 我が国で長く読み継がれてきた優れた古典作品が、多くの美しい写真資料とともに掲載されています。 - 古典の鑑賞・紹介の文章も豊富に掲載されています。また、近代文学や近代詩の名作も、全学年に掲載されています。 - 口絵と扉に季節感のある言葉や詩歌が掲載されていて、一年を通じて日本の豊かな風土に培われた言語文化に親しめます。 「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」でも、日本の伝統・文化に関する文章や言語活動が多く扱われています。
今日的課題の取り上げ方	- 次のように、さまざまな今日的課題に対応した内容が扱われています。（〔 〕内は扱われている学年・ページの例） - 生命の尊重、安全・防災 [3年 p.184~] 環境 [3年 p.62~] 人権・福祉 [2年 p.80~] キャリア教育 [3年 p.174~] - 食育 [2年 p.60~] 郷土への思い [3年 p.52~] 国際理解・平和 [1年 p.82~] メディアリテラシー [1年 p.186~]
小学校・高校との関連	「言葉の力」は、小学校国語の学習内容を受け、小中9年間の見通しを持って系統的に設定されています。 1年では「学習を始める前に」で、小学校で学んだ、国語学習の土台となる内容を、適宜確かめることができます。 3年では評論文が多く扱われ、資料編で「古典の文法」も学べるなど、高校国語へ移行しやすいように配慮されています。
他教科・実生活との関連	- 全教科の学習と実生活の言語活動を支える基礎的な力を、「学びを支える言葉の力」で鍛えることができます。 - レポートや、手紙、スピーチ、多様な話し合いなど、他教科の学習や実生活で生きる言語活動が豊富に扱われています。 - 社会、理科、技術・家庭、音楽など、他教科と関連する題材が積極的に取り上げられています。
道徳との関連	豊かな情操を育む文学作品、共感する心を養うドキュメンタリー、公共の精神を育てる協働的な言語活動が豊富です。
家庭学習への配慮	- 巻頭折り込みに学習の進め方が示され、その中で、家庭でも扱うことができる学習内容にマークが付けられています。 - 特に資料編には、自学できる素材が多く掲載されています。例えば「言葉を広げよう」には、3学年で1412もの言葉が、分類されて、全て例文つきで示されていて、生徒が語彙を豊かにしていけるようになっています。
読書生活への配慮	- 多種多様な「読書案内」が用意されていて、3学年で305冊もの本が、紹介文と写真入りで掲載されています。 - 読んだ本を紹介したり、その内容について話し合ったりする読書活動が、全学年に複数示されています。
情報活用・ICT活用	- 全学年に「言葉とメディア」の系統が設けられていて、メディアリテラシーを深く学ぶことができます。 - デジタルコンテンツを利用することが効果的な学習材には、そのことを示すマークが付けられています。
特別支援・ユニバーサルデザイン	- 特別支援教育の観点から、内容およびデザインについて検討・校閲がなされています。全ての生徒にとって、各部分の認識や重要な部分の判別がしやすいように、文字の大きさと書体、罫線や囲みの使い方、色遣いが工夫されています。 - カラーバリアフリーの観点からも、全ページにわたり配色とデザインの検証が行われています。 - 小学校で学習していない漢字には、学習材ごとの初出箇所振りに仮名が付けられていて、生徒の抵抗感を和らげています。
文字・印刷・製本	- 本文書体に、小学校教科書で使用されている教科書体に筆遣いや字形を合わせた、特別な明朝体を使用されています。 - 環境への配慮から、再生紙・植物油インキが用いられています。本文用紙は軽量化が図られ、製本は堅牢です。

2. 対照表

ページ	学習材名	指導事項・言語活動例との対応				配当時数				配当学期
		話	書	読	伝	話	書	読	伝	
巻頭	未来へ			ア				1		前期 58時間／ 書・予 10時間
18	メッセージをどう聞か			ア				2		
21	短歌を楽しむ			ア, ウ／ ㊤ ア				2		
26	短歌のリズムで表現しよう		ウ／ ㊤ ア				3			
28	方言と共通語				イ(ア)				1	
30	敬語				イ(ア)				2	
32	字のない葉書			イ, エ／ ㊤ ア				3		
37	卒業ホームラン			イ, エ／ ㊤ ア				4		
54	問題意識を持って聞こう	エ／ ㊤ ア				3				
57	形の似た漢字				ウ(ア), (イ)				1	
60	鯉節——世界に誇る伝統食			イ, エ／ ㊤ イ				4		
69	要約する			イ				1		
70	テーマを立てて説明する		ア				1			二期 47時間／ 書・予 9時間
71	調べて考えたことを伝えよう		ア, イ				6			
77	用言の活用				イ(エ)				2	
78	漢字の意味				ウ(ア), (イ)				1	
80	小さな労働者			オ				2		
90	哲学的思考のすすめ			イ, エ／ ㊤ イ				5		
98	論証の組み立てを捉える			イ				1		
99	反対意見を想定して書こう		イ, ウ／ ㊤ イ				6			
105	説得力のある提案をしよう	イ, ウ／ ㊤ ア				5				
111	助詞				イ(エ)				1	
112	同訓異字				イ(イ), ウ(ア), (イ)				1	
114	落葉松			ア				1		後期 55時間／ 書・予 17時間
118	枕草子・徒然草		ウ	エ	ア(イ)		1	3	(4)	
128	平家物語			エ	ア(ア), (イ)			4	(4)	
142	漢詩			ウ	ア(ア)			3	(3)	
146	依頼状やお礼状を書こう		エ／ ㊤ ウ				3			
148	話し言葉と書き言葉				イ(ア), (オ)				1	
150	助動詞				イ(エ)				2	
152	走れメロス			イ, ウ／ ㊤ ア				6		
171	人物像を捉える			イ				1		
172	類義語・対義語				イ(イ)				1	
174	歴史の物差し——水月湖の年縞			オ／ ㊤ ウ				2		
186	「正しい」言葉は信じられるか			ウ／ ㊤ ウ				3		
193	タウン誌の記事を推敲しよう		エ				3			三期 27時間／ 書・予 9時間
196	反論する	オ				1				
197	話し合いで問題を検討しよう	ア, オ／ ㊤ イ				6				
202	想像を誘うように表現する		ウ		イ(ウ)		1			
203	いきいきと描き出そう		ウ, オ／ ㊤ ア				6			
210	同音異義語				イ(イ), ウ(ア), (イ)				1	
212	わたしが一番きれいだったとき			ア, エ／ ㊤ ア				2		
214	坊っちゃん			エ				4		
計						15	30	54	14	113
書写および予備										27
総計										140

【備考】

- ・見出し欄の、「話」は「話すこと・聞くこと」領域、「書」は「書くこと」領域、「読」は「読むこと」領域、「伝」は「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」を表す。
- ・「指導事項・言語活動例との対応」の「話」「書」「読」欄に、**㊤**とともに示された記号は言語活動例を表し、それ以外の記号は指導事項を表す。
- ・「配当時数」の「伝」欄に、括弧付きで示された数字は、それぞれの学習材における「書」および「読」の配当時数を合計したものである。
- ・「配当学期」欄に、**書・予**とともに示された数字は、書写および予備の時数である。
- ・「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の「イ(イ)」は、上表に記載した学習材のほか、「読むこと」の全ての学習材で扱っている。
- ・「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の「ウ(ア)」のうち、第1学年までに学習した常用漢字については、読み慣れることを目的として全ての学習材で扱っている。その他の常用漢字については、375字を第2学年で新出漢字として提出している。
- ・「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の「ウ(イ)」は、上表に記載した学習材のほか、「書くこと」の全ての学習材で扱っている。特に小学校6年で学習した漢字は、「小学校6年の漢字一覧」で確かめられるようにしている。